

最新の脳科学に基づいた「くぼた式育児法」を取り入れることで、お子様の成長を促すより確かなサービスを提供することが可能です。

くぼたのうけんが実践するくぼた式育児法とは

脳の発達時期に応じて、何を与え、何をさせればよいかを、脳科学研究の専門知識と実際の子育て経験をもとにして開発した「賢い脳を育てる」育児法です。久保田カヨ子・競夫妻によって考案されました。

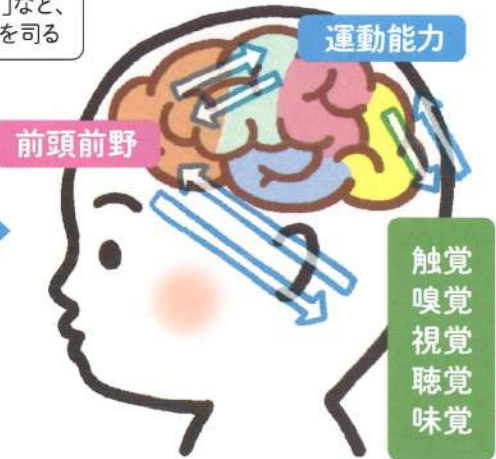
脳を鍛えるって？

「脳を鍛える」というのは、具体的には脳の「前頭前野」を鍛えることです。前頭前野は、与えられた膨大な情報をまとめて、どう処理すれば良いかを瞬時に決める重要な部分。そのため、「同時に2つのことを行う」「順序立てて物事を進める」「決断する」などの複雑な行動をするときは、この部分が活発に働いている必要があります。

くぼたのうけんのカリキュラムは、この前頭前野を様々な方法で刺激し、どんどん動かすことを目的としています。前頭前野が鍛えられることによって「考える力」に秀でた子どもが育つのです。

「記憶力」「思考力」「判断力」など、人間にとって最も重要な力を司る

感覚・認知と運動行動を経験する



様々な刺激を受けた部分はその分だけ大きく発達します。

レッスン風景



0歳からの育脳教室

くぼたのうけん

開校から10年、多くのママ・パパたちから支持を得て培ってきた「くぼたのうけん くぼた式育児法」のノウハウを全てお伝えします。

全国で導入実績多数！

導入後、喜びの声を多数いただいております

認定こども園米沢幼稚園（山形県米沢市）、帝塚山学院幼稚園（大阪府大阪市）、ようすい子ども園（和歌山県和歌山市）、とようら保育園（栃木県那須塩原市）など、幅広くご利用いただいております。

園の教育目標とくぼた式育児法の理念が合致したため、導入を決めました。研修後は、接し方次第で子どもの成長に多大な影響を与えらると思うと、大きな責任と同時に、やりがいを感じるようになりました。

導入前も本園では五感を鍛えることをとても大切にしてきました。くぼた式育児法を学んだことで、本園の教育方針に自信を持つことができました。子どもの持っている力を最大限に引き出す素晴らしい育児法だと感じられたので、今後もさらに学び続けたいです。

くぼた式育児法のカリキュラムを行う事で、個々の発達段階をより細かく知ることができ、それに応じた指導を行いやすくなりました。個のありのままの姿や考えを認めながら、自分で気づき、学べるような指導を意識するようになりました。

くぼた式育児法を導入後、「違うよ」「そうじゃない」など否定的な言葉を使わなくなりました。そうすることで、子ども達が自ら考え取り組もうとする姿勢がさらに増えてきているように感じます。

充実したカリキュラムと、 乳幼児教育のエキスパートによる手厚い指導

乳児クラス

内容	0～1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13～16ヶ月 (1歳1ヶ月～ 1歳4ヶ月)	17～20ヶ月 (1歳5ヶ月～ 1歳8ヶ月)	21～24ヶ月 (1歳9ヶ月～ 2歳)	25～31ヶ月 (2歳1ヶ月～ 2歳7ヶ月)	32～36ヶ月 (2歳8ヶ月～ 3歳)
感覚・認知	おむつ体操①	C線維カレス系システム (親子で一体感が生まれる) おむつ体操②	追視	いないいないバア	鏡あそび (顔の認知)	発音を促す遊び (アー、オー、イーの口を見せる)	動くものを追視し、予測する	かくれんぼあそび		色の認知	大小の認知	形の認知	数の認知	長さ・重さの認知	仲間探しカード (色覚パターンを直感で区別する)	微妙な色を区別する	Kパッチカード (図形例を見て促す)
身体	他力でうつぶせ	迷路反射を利用してあおむけからうつぶせになる のうけん椅子に座る(箱) (おすわりの準備) オリジナル教材①	おむつ体操③ (ストップができるように促す)	まんまる体操	ずりばいから四つん這いはいはい (四肢を鍛える)	立つ (自力でつかまって)	跳ぶ (感覚を経験させる)	足の間に歩いて歩く (リズムを覚える)	歩く	線の上を歩く、赤で止まる (言葉で伝えて、歩いたり止まったりできる)	平面跳び (ケンステップ) (足でグーパー)	幼児用の椅子に座る					
手	握る (把握反射) 親指を外に出す	5本の指で握る (反射を利用して握り方を覚える)		つまむ・入れる	鉛筆を持つ	ナインボール (プレジジョングリップ) オリジナル教材②	ひも通し (両手を使う)	とめる (スナップボタン)	Kパッチ (凹凸を上下左右に動かす)	結ぶ							



くぼたのうけんに通うと、
褒めることの大切さを
知ることができます。

教室では、講師が「上手な褒め方」をお教えします。褒められると、子どもの脳内には「ドーパミン」という快楽物質が分泌され、神経細胞の働きが良くなるのです。

久保田カヨ子先生考案の 豊富なオリジナル教材

久保田カヨ子先生は、久保田式育児法だけではなく、その実践を助けるオリジナル教材の開発にも力を注ぎました。同じ教材でも、使い方を工夫することで乳児・幼児さまさまざまな月齢の育脳に役立ちます。ここでその教材の一部を見てみましょう。

オリジナル教材① 活用カリキュラム例

0歳児クラスカリキュラム のうけん椅子

久保田カヨ子先生が、赤ちゃんにぴったりのサイズにこだわって考案した椅子。付属の箱の中に入れて、転倒を防ぎます。(対象月齢：2ヵ月半～2歳程度)



ポイント

- のうけん椅子の背もたれに背中をつけ、両足は床にぴったりとくっつけます。姿勢よく座ることは、集中して取り組むことにつながっていきます。